

2025 年度

通常総会議事資料

<2025 年 6 月 15 日>

<議 事>

1 日 時

2025 年 6 月 15 日（日） 13:45～17:00（要会場原状復帰）

2 会 場

東京エレクトロンホール宮城 601 大会議室
（宮城県仙台市青葉区国分町3-3-7）

※ オンラインによる傍聴可能

3 付議事項

第一号議案 2024 年度事業報告並びに決算及び監査報告について
第二号議案 2025 年度事業計画並びに予算について
第三号議案 2025 年度役員を選任について
第四号議案 定款の一部変更について

特定非営利活動法人
日本ファシリテーション協会

2024年度事業報告

2024年4月1日から2025年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

2024年度は構造的な赤字体質の改善に向けFAJの活動のあり方を見つめ直す1年でした。各事業の活動一つ一つの目的、意義、採算性等を確認し、次年度以降の活動について検討しました。

調査・研究事業:各支部やサロンにて対面やオンライン等、多様な形態で定例会や例会を開催しました。拠点単独開催にとどまらず、拠点同士、または、外部団体との共同開催等も行い、各拠点でファシリテーションを探究する場を深め、広げました。

教育・普及事業:全国での基礎講座や実践講座を開催し、講座後に参加者が繋がり振り返る場を開催しました。ファシリテーションサポート委員会との連携から出張講座を開催しました。またセミナー講師のトレーニング開催やコンテンツを改良し品質向上を目指しました。

支援・助言事業:外部からの要請に対する支援では、問い合わせに対して丁寧なヒアリング対応し、新たな展開としてセミナー委員会や協働促進プログラム委員会との連携を行いました。災害復興、防災・減災に関する活動として、被災地での会議の支援や支援者のための講座、災害復興や防災への関心を高めるためのイベントを開催しました。

交流・親睦事業:地域イベントの開催や外部団体との交流等通じて、幅広い地域や分野で会員・非会員の交流を行いました。

広報・コミュニケーション活動:ニューズレターを発行するとともに、FAJ内外への発信力を高めるため、ホームページの構成の変更を検討しました。

ミッションおよび組織運営に関わる活動:ファシリテーターズターミナルとしてありつづけるために、持続可能な取り組みとして、今の組織構造を客観的に捉えて組織を考え直しました。

その他の活動:新しい未来に向けて既存の境界線を越えていく一歩を踏み出す活動を継続・実施しました。

以下、事業の概要を報告します（括弧内は担当組織を表します）。

1 ファシリテーション技術の確立や新しい技術の開発を目指す調査・研究事業

1) 実践力の相互研鑽の場作りの推進(理事会、各支部運営委員会)

- 各拠点において対面やオンライン等の多様な開催形態での開催を模索・検討し、定例会や例会を開催しました。
- 拠点単独開催に加えて、拠点同士、または、外部団体との共同開催を行い、社会課題を意識したテーマを取り上げる等、各拠点でファシリテーションを探究する場を深め、広げました。

2) ファシリテーションの本質を探究(理事会、サミット実行委員会)

- 『ウェルビーイング社会へ～課題を解決するファシリテーション～』をテーマ・コンセプトに、富山県にて「ファシリテーション・サミット富山 2024」を開催しました。214名（FAJ会員168名 一般46名）の参加者がありました。FAJ内外から日頃のファシリテーション探究・実践の成果を披露する場として、多数のワークショップが開催されました（ワークショップセッション22本、ポスターセッション17本等）。

閉会時には、前年度の『ファシリテーション・サミット名古屋 2023』実践者表彰およびサミット宣言が行われました。

<富山サミット宣言>

私たちファシリテーターは、ウェルビーイング社会の実現のために様々な現場にかかわって、「多様性を認め合い、寛容性を高め合う」という関係性を構築する場を増やしていきます。

2 ファシリテーター養成や実践方法の普及を目指す教育・普及事業

1) 従来の公開セミナーの継続強化(公開セミナー委員会)

- 基礎講座は、リアル18回/オンライン3回 計21回 26クラス開催し408名の方が受講しました。

また、講座参加者の振り返りの場である「アフターミーティング」は、地区を越えたセミナーアソシエイツで運営チームを編成し、オンラインにて3回実施しました。

- 開催時の判断フローをもとに、状況に応じて安心して受講できる運営を継続しました。
- 引き続き、セミナーの品質向上と継続的な開催に向けて講師の増員を目指した講師トライアルを2回開催しました。4名から挑戦があり、その結果1名の准講師が誕生しました。また、講師のレベルアップを意図した講師トレーニングの開催およびセミナーコンテンツの改良の検討を行いました。

2) 公開セミナーの新たな展開の検討(公開セミナー委員会)

- 地区を越えたセミナーアソシエイツでオンライン開催運営チームを編成し、基礎講座オンライン開催を3回3クラス実施しました。
- ファシリテーションサポート委員会との連携から、1回2クラスは外部からの依頼で企業への「出張講座」を開催しました。
- 実践講座は、東京3回に加えて、札幌・仙台で各1回 計5回開催し、48名の方が受講しました。
- 公開講座(特別編)開催は、プロジェクトの今後の方向性・進め方について検討しましたが、新体制を構築するまでには至りませんでした。
- 告知内容のブラッシュアップについては、地区を越えたセミナーアソシエイツ有志でプロジェクトチームを立ち上げ、ホームページ/SNS活用/出張講座等 新たな施策を行いました。

3 各種団体におけるファシリテーションの活用をサポートする支援・助言事業

1) 社会からの多様な要請に対する支援の充実(ファシリテーションサポート委員会)

- 外部からの問い合わせは52件(昨年度は72件)ありました。問合せにはヒアリングを行い、ファシサポ案件として、研修会やワークショップ形式での支援件数は28件(46回)でした。その他にもファシリテーションの導入に関するご相談やワークショップの運営に関する助言、グループインタビューの進行等ファシリテーターとして現場に関わる活動も行いました。
- 支部・委員会との連携では、中国支部の8月定例会、東北支部の12月定例会にファシサポ事例に基づいたプログラムを提供しました。また、各拠点とも連携し、多くの新たな会員がメインファシリテーター・サブファシリテーターとして参画しました。
- FAJ内の情報発信として広報担当のWebサポーターの協力によって、HP更新や広報の企画をしました。

2) 災害復興、防災・減災に関するファシリテーションを通じた支援(災害復興委員会)

- 能登半島地震の被災地において、七尾市、能登町、志賀町で情報共有会議等の支援や、石川県内の地域支え合いセンターの生活支援相談員向けにワークショップを行いました。また、令和6年台風の被災地である福島県南相馬市において、南相馬市災害ボランティアセンター連携会議の支援を継続しました。
- 石川県鳳珠郡能登町において、支援者を対象とした板書練習会を開催しました。また、災害復興・防災支援者のための「話し合う力養成講座」を東京都内で開催しました。FAJ関西支部/中部支部/東京支部/九州支部での話題提供や青森市においても板書ボランティア練習会を開催しました。
- 災害復興や防災活動への関心を高めるため、東京都内でクロスロード&報告書を読む会を開催、またオンラインでのトークカフェを開催しました。FAJ会員に向け、能登半島地震の被災地での支援活動についての報告会を実施しました。

4 ファシリテーターや関連団体間の親睦を図る交流・親睦事業

1) 地域イベントを開催(各支部運営委員会、地域イベント実行委員会)

- 5つの支部で地域イベントを開催しました。コミュニケーション、合意形成、社会課題等のテーマを通じて、会員と非会員が交流する場を提供しました。FAJだけでなくFAJ外の知見も活用することで、幅広い分野の人々へファシリテーションを届ける機会となりました。

2) 国境や文化・言語を越えてつながる交流・親睦活動の強化(グローバルファシリテーション推進委員会)

- IAF Summit2024にてフィンランド式ファシリテーションを実施する等、国内外でグローバルなファシリテーションの普及活動を実施しました。ワールドカフェの新たな組織GCBC(生成的対話の場コミュニティ)による活動に参加し、FAJ内外のファシリテーターと交流を行いました。
- 3年前よりルーマニアプロジェクトとして異文化間でのファシリテーションの交流を進めた他、IAFアジア各支部との連携も模索しました。
- 科学技術の社会実装プロジェクトは、学会での論文発表や国際科学祭でのワークショップを実施しました。今プロジェクトは協働促進プログラム委員会からも広報されました。

3) 他団体との連携強化(理事会、各支部運営委員会、事務局)

- 自治体や教育委員会の後援を得た支部イベントをはじめ、自治体からの講演依頼への対応をいたしました。
- 他団体等との共催による定例会や支部イベントを通じて、FAJ 外部で活躍しているファシリテーターとの連携を深めました。

5 広報・コミュニケーション活動

1) FAJ 内への情報発信の強化(理事会、広報委員会)

- ニュースレター74号を発行、75号を会員向けホームページで配信しました。また、意義等の見直しを検討した結果、紙媒体を廃止、ホームページでの会員間の情報発信、共有を実施することを決定しました。
- 過去情報の整理を実施しました。また、ホームページの校正について見直しを実施しました。
- 理事会議事録をタイムリーにアップしました。

2) FAJ 外への情報発信の強化(理事会、広報委員会)

- 個別の会員活動を支援しました。
- 外部へ FAJ の拠点活動が分かりやすく伝わるようにホームページの構成を検討しました。また、読書カフェを5回実施しました。

6 ミッションおよび組織運営に関わる活動

1) 組織のあり方の検討(理事会、各拠点、事務局)

- ビジョンの普及を有志で行うメンバーが、身近な支部にて定例会(テーマ:対話が生む新しい発見! ~FAJ ビジョンをテーマに対話を楽しもう~)の実施や、ビジョンの普及および浸透度を数値的に測れるようにするためのアンケートの開発の検討等、普及活動を継続的に実施しました。
- 2023年度実施のスタッフ会議の報告書を会員向けホームページにアップするとともに、各拠点において、拠点活動と公益とのつながりについてロジックモデルを土台とした議論をしました。
- 役員の選任制度の見直しの検討をする過程で、あらためて FAJ のガバナンスのあり方をも含め考えていくこととしました。

2) 運営のやり方の検討(理事会、各拠点、事務局)

- FAJ の全ての拠点、事務局、理事会から選出したメンバーにより構成される「2025年度予算適正化に向けて方向性を検討するチーム」で、2024年8月から2025年1月まで、計10回の会議で議論を重ね、収支バランスを適正化した2025年度予算草案を作成しました。また、今後の運営に関する提言を作成しました。
- 2025年1月に情報共有会をオンラインで開催し、現状の課題を共有するとともに、ファシリテーションの裾野を広げるために自分たちができることを考えました。また、各拠点間のコミュニケーション促進ツールとして、Stockの運用を開始する取り組みを始めました。

3) 拠点運営のサポートの充実とデジタル化の推進(理事会、デジタル推進委員会)

- 経費精算システムによる事務処理については、説明会の実施、資料の配布、コミュニケーションツールによる相談の受付を展開し、経費精算事務の負担軽減に取り組みました。
- 各拠点の支援および、共有ツールの検討支援、定例会データベースの検討の実施およびマイクロソフト365の活用を検討しました。

4) 各種制度改正への対応(理事会、事務局)

- 2024年度は対応すべき制度改正はありませんでした。

7 その他の活動

1) 共通の目的を有する会員・各種団体との価値創出(協働促進プログラム委員会)

- 協働促進プログラム委員会として正式に立ち上げ、活動メンバーを募集しました。
- 新規協働プロジェクトを募集し、新たなプロジェクトが立ち上がりました。
- 定例会での事例発表(1件)や話題提供(8件)を実施し、委員会の活動や知見を会員に広げました。

2) 拠点外の活動に対する支援(理事会)

- 会員の有志活動の掲載の仕方について検討をし、理事会で方法を議論・決定しました。なお、実現においてはホームページのシステム上の課題があり、実施については準備中です。

I 特定非営利活動に係る事業

1. 調査・研究事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数		
				会員	一般	
北海道支部 定例会	2024/04/06	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	1	18	1	
	2024/05/11	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	0	15	1	
	2024/06/01	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	1	14	3	
	2024/07/06	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	1	11	2	
	2024/08/03	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	1	12	3	
	2024/09/07	北海道札幌市 産業技術教育訓練センター	1	8	0	
	2024/10/05	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	1	14	0	
	2024/11/02	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	1	19	1	
	2024/12/07	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	1	15	3	
	2025/01/11	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	1	10	5	
	(2月)	開催なし				
	2025/03/01	北海道札幌市 札幌市生涯学習総合センター	1	12	1	
				受益対象者延べ人数	168	
会員に興味のある話題をアンケートして、年間の予定を立てています。昨年度より若干参加者が増えました。						
東北支部 定例会	2024/04/06	宮城県仙台市 トークネットホール仙台	4	10	1	
	2024/05/11	宮城県仙台市 トークネットホール仙台	5	11	4	
	2024/06/01	宮城県仙台市 トークネットホール仙台	3	8	3	
	2024/07/06	宮城県仙台市 トークネットホール仙台	3	6	0	
	2024/08/03	宮城県仙台市 トークネットホール仙台	4	8	0	
	2024/09/07	宮城県仙台市 東京エレクトロンホール宮城	3	7	3	
	2024/10/05	宮城県仙台市 トークネットホール仙台	4	8	1	
	2023/11/02	宮城県仙台市 トークネットホール仙台	4	8	2	
	(12月)	開催なし				
	2025/01/11	宮城県仙台市 トークネットホール仙台	4	6	7	
	(2月)	開催なし				
	2025/03/12	宮城県仙台市 トークネットホール仙台	2	9	1	
				受益対象者延べ人数	103	
参加者数は2023年度より若干の減少が見受けられますが、学生の参加が増えてきております。また、2024年度は3支部合同のオンライン定例会を開催することができました。						
東京支部 定例会	2024/04/27	東京都品川区 きゅりあん	5	34	2	
	2024/05/25	東京都葛飾区 葛飾シンフォニーヒルズおよびオンライン(5月25日、28日開催)	7	55	12	
	2024/06/29	東京都足立区 足立区勤労福祉会館	10	15	16	
	2024/07/27	東京都北区 北とびあおよびオンライン(7月27日、29日開催)	15	52	6	
	2024/09/01	東京都新宿区 東京ボランティア・市民活動センター	4	15	6	
	2024/09/28	東京都葛飾区 葛飾シンフォニーヒルズおよびオンライン(9月26日、28日開催)	10	51	18	
	2024/10/22	東京都足立区 足立区勤労福祉会館およびオンライン(10月22日、26日開催)	8	14	11	
	2024/11/23	東京都品川区 きゅりあんおよびオンライン(11月23日、25日開催)	12	60	15	
	2024/12/21	東京都足立区 足立区勤労福祉会館	4	6	4	
	2025/01/23	東京都葛飾区 葛飾シンフォニーヒルズおよびオンライン(1月23日、25日、29日開催)	7	62	6	
	2025/02/22	東京都葛飾区 葛飾シンフォニーヒルズおよびオンライン(2月22日、27日開催)	8	31	2	
	2025/03/22	東京都葛飾区 葛飾シンフォニーヒルズ	9	24	10	
					受益対象者延べ人数	527
	参加者数は目標を下回りました。原因としてはこれまで人気のあった外部講師によるワークショップの回数を減らしたこと、定例会のテーマの魅力が訴求できなかったこと、企画者の固定化によりテーマのバリエーションが低下したことなどが考えられました。来期はこれらについて改善を行い、より多くの会員が参加できるようにします。					

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
中部支部 定例会	2024/04/30	愛知県名古屋市 瑞穂生涯学習センター	3	3	1
	2024/05/11	愛知県名古屋市 東桜会館	5	16	5
	2024/06/08	愛知県名古屋市 名古屋工業大学	2	6	4
	2024/07/20	愛知県名古屋市 東桜会館	2	20	2
	2024/08/24	愛知県名古屋市 東桜会館およびオンライン(8月29日開催)	3	24	1
	2024/09/21	愛知県名古屋市 東桜会館	3	22	5
	2024/10/20	オンライン(10月23日開催)	5	43	7
	2024/11/09	愛知県名古屋市 ウィンクあいちおよび愛知県名古屋市 港生涯学習センターおよびオンライン(11月16日、20日開催)	7	26	16
	2024/12/07	愛知県名古屋市 名古屋工業大学および愛知県名古屋市 ウィンクあいち(12月22日開催)	3	22	25
	2025/01/16	オンラインおよび愛知県名古屋市 東桜会館(1月18日、19日開催)	5	30	7
	2025/02/15	愛知県名古屋市 シェアキッチン&レンタルスペースはじまるおよびオンライン(2月16日開催)	7	20	1
	2025/03/15	愛知県名古屋市 東桜会館およびオンライン(3月19日、22日開催)	7	26	5
	受益対象者延べ人数				337
定例会、支部イベント共に参加者数が昨年よりも増加しました。定例会は、毎月実施したこと、オンライン開催を継続していること、オンラインの特性を生かして日曜日午前または午後、平日夜といった変則日時開催をしたのが功を奏しました。これは、運営メンバーの尽力によるところが大きいと感じています。ですが、一回あたりの参加人数は減少傾向です。支部イベントは昨年度より早めに始動したことで多くの一般の方をお呼びすることができました。					
関西支部 定例会	2024/04/13	兵庫県西宮市 西宮市民会館および兵庫県神戸市 ふたば学舎(4月13日、14日開催)	7	32	5
	2024/05/11	兵庫県西宮市 西宮市民会館	8	38	10
	2024/06/08	兵庫県西宮市 西宮市民会館	6	20	3
	2024/07/13	京都府京都市 京都市職員会館かもがわ	3	20	1
	2024/08/03	大阪府大阪市 SeekS×potおよびオンライン	6	20	8
	2024/09/14	兵庫県西宮市 西宮市民会館およびオンライン(9月14日、28日開催)	18	41	7
	2024/10/12	兵庫県西宮市 西宮市民会館	6	19	4
	2024/11/09	大阪府大阪市 東淀川区民会館および大阪府大阪市 大阪大学中之島センターおよび大阪府大阪市 大阪市立総合生涯学習センター	12	21	31
	2024/12/14	兵庫県西宮市 西宮市民会館および兵庫県神戸市 ふたば学舎および滋賀県東近江市 クレフィール湖東(12月14日、29-30日開催)	12	44	7
	2025/01/11	兵庫県西宮市 西宮市民会館および大阪府大阪市 大阪市立総合生涯学習センター	7	21	24
	(2月)	開催なし			
	2025/03/08	兵庫県西宮市 西宮市民会館および大阪府大阪市 QUINTBRIDGE(3月8日、22日開催)	8	35	32
	受益対象者延べ人数				443
事業計画のとおり、他団体や大学との共催などの事業が継続的にできています。また、FAJ内部での他委員会の定例会も開催するなど、ネットワークを活かした定例会を開催することができました。一方で昨年に比べて活動の回数が減ったことにより、受益対象数が減少しました。					
中国支部 定例会	2024/04/25	オンライン	3	17	3
	2024/05/18	広島県広島市 合人社ウェンディひと・まちプラザ	3	13	2
	2024/06/22	オンライン	3	6	3
	(7月)	開催なし			
	2024/08/24	広島県広島市 広島県社会福祉会館	4	3	1
	(9月)	開催なし			
	2024/10/16	オンライン	3	12	3
	2024/11/23	広島県広島市 合人社ウェンディひと・まちプラザ	4	9	7
	2024/12/21	広島県広島市 合人社ウェンディひと・まちプラザ	3	10	2
	2025/01/25	広島県広島市 フィルスベ広島紙屋町	3	10	3
	(2月)	開催なし			
	2025/03/15	広島県広島市 合人社ウェンディひと・まちプラザ	4	15	5
	受益対象者延べ人数				124
目標としていた参加者数や地域コミュニティとの協働は達成できませんでしたが、FAJネットワークを活かした多彩な定例会を実施し、初参加者や非会員の継続参加が毎回みられました。新たな層にファシリテーションの魅力を伝え、会員増にもつなげることができました。					

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
九州支部 定例会	2024/04/05	オンライン	1	22	0
	2024/05/18	福岡県福岡市 NPO・ボランティア交流センターあすみん	1	12	3
	2024/06/01	福岡県福岡市 NPO・ボランティア交流センターあすみん	1	8	0
	2024/07/06	福岡県福岡市 なみきスクエア	1	5	3
	2024/08/03	福岡県福岡市 なみきスクエア	3	10	5
	2024/09/07	オンライン	2	19	1
	2024/10/13	佐賀県三養基郡基山町 基山フューチャーセンターラボ	3	13	6
	2024/11/02	福岡県福岡市 NPO・ボランティア交流センターあすみん	1	6	0
	2024/12/13	オンライン	3	9	0
	2025/01/11	福岡県福岡市 福岡商工会議所	3	11	3
	(2月)	開催なし			
	2025/03/08	福岡県福岡市 福岡商工会議所	3	13	1
	受益対象者延べ人数				150
事業計画通り12回の定例会を開催することができました。オンライン、平日夜開催、外部コミュニティとの交流、他支部との合同企画と開催方法や企画に工夫を凝らしました。ファシリテーションの実践報告、本質の探究など多彩なテーマを取り上げつつも、ほぼ九州支部会員の登壇により実施できたことは大きな成果だと感じています。					
支部合同開催	2025/02/01	オンライン 北海道・東北・九州支部合同開催	1	26	0
	受益対象者延べ人数				26
ファシリテーション サミット	2024/06/15-16	富山県富山市 富山県民会館およびオンライン	19	168	46
	受益対象者延べ人数				214
サロンサポート	—	地域型12か所(秋田、群馬、埼玉、新潟、富山、和歌山、岡山、四国、佐賀、熊本、長崎、沖縄)テーマ型3か所(ビジネスファシリテーション実践、TOC×Facilitation、行動科学ファシリテーション研究)	—	—	—
	受益対象者延べ人数				—
出前授業プロジェクト	2024/09/03	オンライン	4	4	0
	2024/09/10	オンライン	5	5	0
	2024/09/17	オンライン	4	4	0
	2024/09/25	オンライン	4	4	0
	2025/10/01	オンライン	4	4	0
	2025/10/09	オンライン	4	4	0
	2025/10/09	オンライン	5	5	0
	2025/10/22	オンライン	5	5	0
	2025/10/23	オンライン	3	3	0
	2025/10/28	オンライン	4	4	0
	2025/10/30	オンライン	4	4	0
	2025/11/05	オンライン	4	4	0
	2025/11/13	オンライン	4	4	0
	2025/11/19	オンライン	3	3	0
	2025/11/25	オンライン	7	7	0
	2025/01/28	オンライン	4	4	0
	受益対象者延べ人数				68

2. 教育・普及事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
公開セミナー 基礎講座	2024/04/21	オンライン	7	9	11
	2024/05/18	東京	11	16	15
	2024/05/25	名古屋(中止)	中止		
	2024/06/04	神奈川	3	0	36
	2024/06/22	福岡(中止)	中止		
	2024/06/22	大阪	5	8	10
	2024/07/20	仙台	4	7	3
	2024/07/21	東京	10	13	23
	2024/08/10	オンライン	7	7	13
	2024/09/08	名古屋	5	6	9
	2024/09/21	東京	10	10	21
	2024/11/16	東京	9	9	17
	2024/11/30	大阪	5	8	11
	2024/12/08	オンライン	6	5	12
	2024/12/21	沖縄	4	1	16
	2024/12/22	富山	4	2	10
	2025/01/18	東京	7	4	16
	2025/01/25	名古屋	6	1	10
	2025/02/08	仙台(中止)	中止		
	2025/02/08	広島	4	8	5
	2025/02/15	福岡	3	3	8
	2025/02/24	東京	8	8	11
	2025/03/09	新潟	5	7	8
2025/03/15	札幌	5	9	2	
実践講座	2024/08/03	東京	6	4	4
	2024/10/19	仙台	4	7	1
	2024/11/16	札幌	7	8	0
	2024/11/30	東京	6	4	8
	2025/03/15	東京	6	11	1
アフター ミーティング	2024/06/08	オンライン	4	9	2
	2024/10/19	オンライン	5	3	4
	2025/02/15	オンライン	5	9	3
受益対象者延べ人数					486

3. 支援・助言事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数		
				会員	一般	
ファシリテーションサポート委員会	2024/04/25 他5回	大阪府大阪市 私立大学:新入学生向けワークショップ	3	0	382	
	2024/04/25	埼玉県さいたま市 行政:効果的な協議体の運営のためのファシリテーション研修	1	0	39	
	2024/05/31	群馬県前橋市 行政(生涯教育):社会教育関係職員研修	3	0	28	
	2024/06/13	神奈川県川崎市 行政(教育委員会):教頭研修「学校現場におけるファシリテーション」	3	0	184	
	2024/06/10	大阪府堺市 任意団体(公益法人):キッズ指導におけるファシリテーション	2	0	43	
	2024/06/24	広島県広島市 行政:消防学校ファシリテーション研修	1	0	33	
	2024/07/01	神奈川県横浜市 任意団体(公益法人):ファシリテーション研修「ファシリテーションスキルを学ぼう」	3	0	74	
	2024/07/02	石川県輪島市 任意団体(商工会):ファシリテーション研修	2	0	9	
	2024/07/06	東京都 任意団体(一般社団法人):ファシリテーター(チューター)派遣	2	0	24	
	2024/07/27	【オンライン】 任意団体(和歌山市):ファシリテーション研修	2	0	13	
	2024/08/19 他4回	沖縄県那覇市 私立大学:夏季集中ファシリテーション入門講座	2	0	96	
	2024/09/25 他7回	群馬県高崎市 公立大学:ファシリテーション授業	2	0	198	
	2024/09/18	新潟県村上市 行政(障害福祉):相談支援職員向けファシリテーション研修	2	0	21	
	2024/10/17	静岡県静岡市 高校:教員向けファシリテーション出前講座	2	0	35	
	2024/10/30	東京都小金井市 私立大学:留学生向けファシリテーション出張講座	2	0	16	
	2024/11/01	福岡県朝倉市 行政:水源地域未来会議ワークショップ	3	0	93	
	2024/11/06	北海道札幌市 行政:ファシリテーション研修/ワークショップ	3	0	64	
	2024/11/11	神奈川県横浜市 行政(社会福祉):福祉系職員向けファシリテーション研修	3	0	46	
	2024/11/15	東京都千代田区 民間:次世代ビジネス研修	2	0	14	
	2024/11/15	東京都 行政:グループインタビュー形式座談会進行	4	0	17	
	2024/11/25	北海道 任意団体(教育):ワークショップ	2	0	35	
	2024/11/25	東京都新宿区 行政:ファシリテーションの基礎を学ぶ	1	0	28	
	2024/11/28 他3回	福島県福島市 行政:市民向けワークショップ	3	0	292	
	2025/02/18	愛知県名古屋 民間団体:ファシリテーション研修	2	0	34	
	2025/02/22	神奈川県川崎市 行政(教育):ファシリテーション研修	3	0	9	
	2025/02/22	埼玉県さいたま市 任意団体(独立行政法人):ファシリテーション研修	2	0	24	
	2025/02/25	埼玉県和光市 任意団体:ファシリテーション研修	1	0	99	
	2025/03/08	東京都 民間団体:ファシリテーション研修	2	0	14	
					受益対象者延べ人数	1964

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
災害復興委員会	2024/04/10	石川県七尾市 第5回七尾市情報共有会議	7	0	24
	2024/04/11	石川県鳳珠郡能登町 鳳珠郡能登町情報共有会議(準備会)	3	0	10
	2024/04/23	【オンライン】羽咋郡志賀町健康福祉課支援	2	0	8
	2024/04/24	石川県七尾市 第6回七尾市情報共有会議	8	0	36
	2024/05/07	福島県南相馬市 災害ボランティアセンター連携会議	2	0	12
	2024/05/08	石川県七尾市 第7回七尾市情報共有会議	7	0	45
	2024/05/09	石川県鳳珠郡能登町 鳳珠郡能登町情報共有会議・準備会	2	0	10
	2024/05/10	石川県羽咋郡志賀町 羽咋郡志賀町健康福祉課支援	3	0	11
	2024/05/11	兵庫県西宮市 FAJ関西支部定例会話題提供	3	19	5
	2024/05/11	兵庫県西宮市 板書ボランティア練習会in関西	3	19	4
	2024/05/14	【オンライン】板書ボランティア練習会	7	18	0
	2024/05/22	石川県七尾市 第8回七尾市情報共有会議	9	0	36
	2024/05/24	石川県羽咋郡志賀町 羽咋郡志賀町健康福祉課	2	0	1
	2024/06/05	石川県七尾市 第9回七尾市情報共有会議	6	0	27
	2024/06/05	石川県羽咋郡志賀町 羽咋郡志賀町健康福祉課	2	0	40
	2024/06/19	石川県羽咋郡志賀町 羽咋郡志賀町健康福祉課	1	0	45
	2024/06/19	石川県七尾市 第10回七尾市情報共有会議	7	0	34
	2024/07/03	石川県羽咋郡志賀町 羽咋郡志賀町健康福祉課	2	0	2
	2024/07/03	石川県七尾市 第11回七尾市情報共有会議	7	0	26
	2024/07/03	石川県羽咋郡志賀町 志賀町健康福祉課支援	2	0	2
	2024/07/03	石川県七尾市 第11回七尾市情報共有会議	7	0	26
	2024/08/22	福島県南相馬市 災害ボランティアセンター連携会議	2	0	10
	2024/09/28	東京都渋谷区 クロスロード&報告書を読む	3	3	14
	2024/11/23	東京都品川区 FAJ東京支部11月定例会話題提供	3	6	5
	2024/11/23	東京都品川区 板書ボランティア練習会in東京	3	3	5
	2024/12/06	福島県南相馬市 災害ボランティアセンター連携会議	2	0	12
	2024/12/09	【オンライン】トークカフェ	4	22	12
	2024/12/13	石川県金沢市/七尾市 石川県社協生活支援相談員向けWS	5	0	81
	2025/01/11	福岡県福岡市 九州支部1月定例会話題提供	3	14	3
	2025/01/11	福岡県福岡市 板書ボランティア練習会in福岡	3	9	3
	2025/1/11	東京都新宿区 災害復興防災支援者のための「話し合う力」養成講座	4	5	8
	2025/2/14	福島県南相馬市 南相馬市災害ボランティアセンター連携会議	2	0	10
	2025/3/15	青森県青森市 災害時の情報共有会議に活かす板書練習会 in 青森	2	2	20
	受益対象者延べ人数				

4. 交流・親睦事業

事業内容	実施日時	実施場所・実施内容	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
地域イベント	2025/02/15	北海道札幌市 札幌市教育文化会館・支部イベント「話し合いでうまく結論がだせないとき、どうしてますか? ~多数決・声の大きさ・じゃんけん禁止!じゃあ、どうやって決める? ~	1	19	7
	2025/03/02	東京都品川区 きゅりあん・支部イベント2025「ファシリテーション・ゼロ」	8	56	27
	2024/12/01	愛知県名古屋市長 愛知みずほ大学・支部イベント「深めよう!楽しもう!究めよう!シン・コミュニケーション」	8	26	48
	2025/02/23	大阪府大阪市 関西大学梅田キャンパス(KANDAI Me RISE)・支部イベント「社会課題に関わるって、なんなん!? ~こうなったらいいの社会のために~」	15	33	5
	2025/03/22	熊本県熊本市 くまもと県民交流館パレア・支部イベント「やりっぱなしじゃもったいない!!ふりかえりを探究し、成長のきっかけをつかもう!」	2	19	9
受益対象者延べ人数					249
グローバル委員会	2024/04/11	オンライン Pepe Nummi チェンジマネジメントWS	4	8	15
	2024/05/10	オンライン Pepe Nummi チェンジマネジメントWS	5	5	20
	2024/06/10	東京都千代田区 日比谷図書文化館 国際ファシリテーターに学ぶ問いと問題解決WS	4	8	15
	2024/06/15	オンライン 富山サミット SFプロトタイプングを使って考える100年後	4	7	0
	2024/08/03	オンライン はこだて国際科学祭でのワークショップ開催	5	0	17
	2024/08/14	オンライン はこだて国際科学祭のふり取り	6	0	1
	2024/09/13	オンライン 科学技術の社会実装活動 計画MTG	5	0	1
	2024/10/04	オンライン 科学技術の社会実装活動 計画MTG	4	0	1
	2024/10/18	オンライン IAF Summit2024フィンランド式ファシリテーションWS	2	2	40
	2024/10/31	オンライン TWC30周年実行委員会①mtg	7	0	1
	2024/11/14	オンライン 科学技術社会論学会 発表内容共有MTG	6	0	1
	2024/11/30	オンライン 科学技術社会論学会発表	2	0	20
	2025/12/05	オンライン 科学技術の社会実装 今後の活動案MTG	5	0	1
	2025/12/20	オンライン 科学技術の社会実装 今後の活動案MTG	5	0	1
	2025/02/10	オンライン 科学技術の社会実装 ワールドカフェ企画	5	0	1
	2025/02/21	オンライン 科学技術の社会実装 ワールドカフェ企画	5	0	1
受益対象者延べ人数					166
共催・後援等イベント	2024/5/18	オンライン・協力:朝日新聞「今こそ知りたい 教育ファシリテーション」	8	200	
	2024/05/20	東京都文京区 東京大学・協賛:一般社団法人組織変革のためのダイバーシティ(OTD)普及協会 5周年記念カンファレンス	—	5	122
	2024/6/15-16	富山県富山市・後援:富山県 FAJファシリテーション・サミット富山	19	168	46
	2024/08/03	オンライン・協力:一般社団法人OTD普及協会 関西支部8月定例会	7	5	4
	2024/10/31	北海道札幌市 後援:北海道札幌市・札幌市職員向け講演会	1	3	32
	2024/12/01	愛知県名古屋市長 後援:名古屋市教育委員会、愛知県教育委員会 協力:愛知みずほ大学、NPOアンビバ、NPOアスクネット、NPO教育心理研究所、他・中部支部イベント「深めよう !楽しもう !究めよう !シン・コミュニケーション」	8	26	48
	2025/03/12	東京都新宿区、オンライン 後援:こども国連環境会議推進協会・「ファシリテーター99人カイギ」		3	51
	2025/02/15	北海道札幌市 後援:北海道 北海道教育委員会 札幌市 札幌市教育委員会・北海道支部イベント「話し合いでうまく結論がだせないとき、どうしてますか? ~多数決・声の大きさ・じゃんけん禁止!じゃあ、どうやって決める? ~」	1	19	7
	2025/02/23	大阪府大阪市 協賛:学校法人関西大学 梅田キャンパス 協力:認定NPO法人サービスグラント 関西事務局・関西支部イベント「社会課題に関わるって、なんなん!? ~こうなったらいいの社会のために~」	15	33	5
	2025/03/02	東京都品川区 後援:品川区公益財団法人品川文化振興事業団・東京支部イベント「ファシリテーション・ゼロ」	8	56	27
	2025/03/22	大阪府大阪市 共催:認定NPO法人サービスグラント・関西支部定例会「キャリアブレイク図鑑をつくらう」	7	19	28
	受益対象者延べ人数				

5. その他の総合的な事業

事業内容	実施日時	実施場所・実施内容	従業者数	受益対象者数		
				会員	一般	
協働促進プログラム	2024/06/07	大阪府大阪市 大阪万博ワークショップ TEAM EXPO 2025 大交流会	4	—	64	
	2024/07/13	グラミン日本ワークショップ参画(西宮市) 現地講師(田島)、現地テーブルファシリ(濱上) オンライン講師(亀井)、オンラインファシリ(中井) 現地36名、オンライン3名	4	—	39	
	2024/07/20	グラミン日本ワークショップ参画(西宮市) 現地講師(熊野)、現地テーブルファシリ(亀井) 現地26名、オンライン16名	2	—	42	
	2024/08/24	グラミン日本ワークショップ参画(鳥取県) 現地講師(亀井)、現地テーブルファシリ(久保) オンラインファシリ(濱上) 現地22名、オンライン1名	3	—	23	
	2024/09/07	グラミン日本ワークショップ参画(福岡県) 現地講師(亀井)、現地テーブルファシリ(水野、中井) オンラインファシリ(今井) 現地39名、オンライン6名	4	—	45	
	2024/09/25	大阪府大阪市 大阪万博ワークショップ TEAM EXPO 2025 交流イベント「TEAM EXPO 2025 自然・環境セッション」協力	4	—	34	
	2024/10/05	グラミン日本ワークショップ参画(群馬県) 現地講師(今井) 現地27名、オンライン1名	1	—	28	
	2024/10/19	グラミン日本ワークショップ参画(栃木県) オンラインファシリ(日野、亀井) 現地25名、オンライン2名	3	—	27	
	2024/10/20	グラミン日本ワークショップ参画(岩手県) 現地講師(今井)、現地テーブルファシリ(今野、佐竹) オンライン講師(亀井)、オンラインファシリ(綱) 現地24名、オンライン3名	5	—	27	
	2024/10/26	グラミン日本ワークショップ参画(糸満市) 対面講師(田島) 現地24名、オンライン4名	1	—	26	
	2024/11/17	グラミン日本ワークショップ参画(愛媛県) 現地講師(日野)、現地テーブルファシリ(久保、濱上) 現地27名、オンライン1名	3	—	28	
	2024/12/15	グラミン日本ワークショップ参画(山梨県) 現地講師(久保)、現地テーブルファシリ(田中) オンラインファシリ(今井) 現地31名、オンライン4名	3	—	35	
			参考)2024年12月14日 関西支部定例会にて話題提供を行いました。 参加者等は関西支部報告内			
	受益対象者延べ人数					418
広報委員会	2024/04/06	オンライン FAJ読書カフェ vol.11 ワークショップ・デザイン 知をつむぐ対話の場づくり	4	45	18	
	2024/06/08	オンライン FAJ読書カフェ vol.12 問いかけの極意 顧客のニーズや部下のモチベーションを引き出す質問力	2	39	6	
	2024/08/03	オンライン FAJ読書カフェ vol.13 WILL「キャリアの羅針盤」の見つけ方	2	36	20	
	2024/10/26	オンライン FAJ読書カフェ vol.14 ソーシャルイノベーションの教科書	2	19	8	
	2024/12/14	オンライン FAJ読書カフェ vol.15 意識が高くない僕たちのためのゼロからはじめる働き方改革	2	25	3	
	受益対象者延べ人数					219
ニューズレター	年2回	東京都渋谷区 FAJ東京事務所、他全国 74号・75号	—	約1000	—	
ウェブサイト	随時	オンライン・必要に応じたイベントなどの情報発信 など	—	—	不特定多数	
メーリングリスト SNS	随時	オンライン・必要に応じたイベントなどの情報発信 など	—	約1000	—	

6. 理事会

事業内容	実施日時	実施場所	従業者数	受益対象者数	
				会員	一般
通常総会	2024/06/16	富山県民会館	79	-	-
理事会	2024/04/21	東京都渋谷区 FAJ東京事務所及び、各所オンラインにて実施	9	-	-
	2024/05/19	東京都渋谷区 FAJ東京事務所及び、各所オンラインにて実施	9	-	-
	2024/07/21	各所オンラインにて実施	10	-	-
	2024/08/18	東京都中央区内会議室及び、各所オンラインにて実施	10	-	-
	2024/09/23	各所オンラインにて実施	10	-	-
	2024/10/20	各所オンラインにて実施	9	-	-
	2024/11/24	各所オンラインにて実施	10	-	-
	2024/12/22	東京都渋谷区 FAJ東京事務所	10	-	-
	2025/01/18	各所オンラインにて実施	9	-	-
	2025/02/08	各所オンラインにて実施	10	-	-
	2025/02/23	各所オンラインにて実施	10	-	-
	2025/03/16	各所オンラインにて実施	10	-	-
情報共有会議	2025/01/19	各所オンラインにて実施	30	-	-

II その他の事業

実施しなかった。

令和6年度「特定非営利活動に係る事業」活動計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファンリテーション協会

科 目	金額（単位：円）		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入金収入			
個人会費	9,565,000		
法人会費	0	9,565,000	
2 事業収入			
調査・研究事業収入	890,860		
教育・普及事業収入	10,214,500		
支援・助言事業収入	6,883,859		
交流・親睦事業収入	493,500	18,482,719	
3 寄付金収入			
個人寄付金	201,650		
法人寄付金	0	201,650	
4 助成金	250,000	250,000	
経常収入合計			28,499,369
II 経常支出の部			
1 事業費			
調査・研究事業費	5,807,687		
教育・普及事業費	8,868,315		
支援・助言事業費	6,527,723		
交流・親睦事業費	938,488		
その他事業費	314,010	22,456,223	
2 管理費			
広 報 費	0		
交通宿泊費	2,531,954		
謝 礼 等	33,000		
会 議 費	367,829		
事務消耗品費	48,277		
通信運搬費	17,960		
諸 会 費	1,100		
資料印刷費	822,751		
外部委託料	3,946,537		
支払手数料	312,480		
地 代 家 賃	676,880		
賃 借 料	273,341		
保 險 料	37,422		
租税公課	248,400		
雑 費	273,103	9,591,034	
経常支出合計			32,047,257
経常収支差額			△ 3,547,888
III その他資金収入の部			
その他資金収入合計	26,537	26,537	26,537
IV その他資金支出の部			
その他資金支出合計	0	0	0
当期収支差額			△ 3,521,351
前期繰越収支差額			32,912,914
次期繰越収支差額			29,391,563

2024年度「特定非営利活動に係る事業」活動予算実績対比表

科 目	予算	2024年度計	予算差異	予算比	決算内訳										
					事務局	北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	サロン	サミット	公開セミナー
(資金収支の部)															
I 経常収入の部															
1 会費・入会金収入															
個人会費	10,840,000	9,565,000	△ 1,275,000	88.24%											
法人会費	0	0	0	-											
2 事業収入	10,840,000	9,565,000	△ 1,275,000	88.24%											
調査・研究事業収入	1,382,800	890,860	△ 491,940	64.42%										692,450	
教育・普及事業収入	12,234,000	10,214,500	△ 2,019,500	83.49%										0	10,214,500
支援・助言事業収入	5,890,000	6,883,859	993,859	116.87%										0	0
交流・親睦事業収入	1,666,000	493,500	△ 1,172,500	29.62%										0	0
					77,000	0	193,000	49,000	102,500	0	72,000				
	21,172,800	18,482,719	△ 2,690,081	87.29%	77,000	31,117	228,700	92,000	166,500	12,593	84,000		0	692,450	10,214,500
3 寄付金収入															
個人寄付金	0	201,650	201,650	-											
	0	201,650	201,650	-											201,650
4 助成金等収入															
民間助成金	500,000	250,000	△ 250,000	50.00%											250,000
	500,000	250,000	△ 250,000	50.00%											250,000
当期収入合計	32,512,800	28,499,369	4,013,431	87.66%											
II 経常支出の部															
1 事業費															
調査・研究事業費															
会場使用料	2,345,623	2,925,121	△ 579,498	124.71%	北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	サロン	サミット		
事務消耗品費	266,000	244,156	21,844	91.79%	175,855	90,715	315,785	153,480	393,050	86,883	92,785	61,560	1,555,008		
交通宿泊費	1,825,000	1,082,687	742,313	59.33%	5,974	1,320	28,190	120,365	41,767	12,217	2,388	15,239	16,696		
謝礼等	1,455,000	1,099,786	355,214	75.59%	381,761	0	0	76,380	117,778	152,177	0	145,667	208,924		
印刷費	130,400	58,531	71,869	44.89%	0	0	55,685	277,901	138,185	5,568	55,000	0	567,447		
会議費	250,000	132,327	117,673	52.93%	3,300	2,110	12,120	4,470	17,410	1,082	2,120	0	15,919		
雑費	328,000	265,079	62,921	80.82%	9,029	3,950	2,300	26,820	57,478	9,900	7,650	0	15,200		
外部委託費	75,000	0	75,000	0.00%	19,747	20,936	33,035	11,194	32,234	8,845	2,022	0	137,066		
教育・普及事業費	6,675,023	5,807,687	867,336	87.01%	595,666	119,031	447,115	670,610	797,902	276,672	161,965	222,466	2,516,260		
会場使用料	2,250,000	1,560,173	689,827	69.34%										公開セミナー	
事務消耗品費	186,000	111,311	74,689	59.84%										1,560,173	
交通宿泊費	3,000,000	2,398,009	601,991	79.93%										111,311	
謝礼等	4,200,000	3,578,657	621,343	85.21%										2,398,009	
印刷費	530,000	366,615	163,385	69.17%										3,578,657	
会議費	186,000	136,765	49,235	73.53%										366,615	
雑費	727,000	716,785	10,215	98.59%										136,765	
外部委託料	50,000	0	50,000	0.00%										716,785	
支援・助言事業費	11,129,000	8,868,315	2,260,685	79.69%										8,868,315	
会場使用料	385,000	43,716	341,284	11.35%											ファシサポ
事務消耗品費	86,000	12,544	73,456	14.59%											災害復興
交通宿泊費	4,320,000	3,218,732	1,101,268	74.51%											6,734
謝礼等	2,850,000	2,995,593	△ 145,593	105.11%											36,982
印刷費	35,000	35,340	△ 340	100.97%											9,350
会議費	3,000	2,370	630	79.00%											3,194
雑費	240,000	219,428	20,572	91.43%											1,379,137
外部委託料	40,000	0	40,000	0.00%											1,839,595
交流・親睦事業費	7,919,000	6,527,723	1,391,277	82.43%											2,007,573
会場使用料	1,065,000	411,430	653,570	38.63%	北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	グローバル			0
事務消耗品費	95,000	36,935	58,065	38.88%	62,120	0	90,100	191,310	0	25,020	42,880				0
交通宿泊費	520,000	73,560	446,440	14.15%	7,334	0	13,958	6,894	8,749	0	0				0
謝礼等	680,000	226,370	453,630	33.29%	41,700	0	0	0	31,860	0	0				0
印刷費	102,000	29,715	72,285	29.13%	0	0	55,000	0	60,000	0	11,370				0
会議費	55,000	51,630	3,370	93.87%	2,948	0	5,550	11,835	7,322	0	2,060				0
雑費	198,000	108,848	89,152	54.97%	0	0	18,630	0	33,000	0	0				0
外部委託料	40,000	0	40,000	0.00%	13,393	0	14,048	8,333	27,269	0	9,714	36,091			0
その他事業支出	2,755,000	938,488	1,816,512	34.06%	127,495	0	197,286	218,372	168,200	25,020	166,024	36,091			3,425,586
会場使用料	50,000	0	50,000	0.00%									協働促進	その他	3,102,137
交通宿泊費	310,000	211,875	98,125	68.11%									164,540	47,335	
外部委託料	0	91,850	91,850											91,850	
会議費	0	8,415	8,415										8,415		
雑費	0	1,870	1,870											1,870	
事業予備費	360,000	314,010	45,990	87.50%									172,955	141,055	
事業費計	30,338,023	22,456,223	7,881,800	74.02%											
2 管理費															
広報費	100,000	0	100,000	0.00%	事務局	システム	広報	詳細							
交通宿泊費	3,042,000	2,531,954	510,046	83.23%	2,168,808	280,472	82,674	プレスリリース(事務)WEBサイト年間維持費(WEB)							
謝礼等	0	33,000	△ 33,000		33,000	0	0	理事会、事務局							
会議費	317,110	367,829	△ 50,719	115.99%	337,084	30,745	0	弁護士相談費用							
事務消耗品費	50,000	48,277	1,723	96.55%	1,850	46,427	0	理事会会場費							
通信運搬費	95,790	17,960	77,830	18.75%	17,960	0	0	名刺代、その他備品消耗品							
諸会費	60,000	1,100	58,900	1.83%	1,100	0	0	郵便、電話、Zoom使用料							
雑費	300,000	273,103	26,897	91.03%	273,103	0	0	JVOAD、シーズ、日本NPOセンター、広島NPOセンター							
資料印刷費	575,000	822,751	△ 247,751	143.09%	436,541	386,210	0	NL発送経費他							
外部委託料	3,646,200	3,946,537	△ 300,337	108.24%	3,751,037	105,600	89,900	封筒 NL印刷費用							
支払手数料	500,000	312,480	187,520	62.50%	312,480	0	0	会計事務、税務、決算、法務、決済サービス利用(発送含)、登記他(事務)							
賞賛料	1,007,840	950,221	57,619	94.28%	950,221	0	0	振込手数料、EB使用料、会費払込手数料							
租税公課	330,000	248,400	81,600	75.27%	248,400	0	0	家賃、倉庫(中部、関西)、セミナー倉庫代 他							
保険料	35,000	37,422	△ 2,422		37,422	0	0	法人税均等割、消費税							
管理費計	10,058,940	9,591,034	467,906	95.35%	8,569,006	463,244	558,784								
当期支出合計	40,396,963	32,047,257	8,349,706	79.33%											
III その他資金収入の部															
その他資金収入合計		26,537	26,537	-											
その他資金支出合計		0	0												
当期収支差額	△ 7,884,163	△ 3,521,351	△ 4,362,812	44.7%											

令和6年度「その他の事業」活動計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科 目	金額 (単位:円)		
(資金収支の部)			
I 経常収入の部			
1 会費・入金収入			
個人会費	0		
法人会費	0	0	
2 事業収入			
物品の斡旋及び販売	0		
役務の提供	0	0	
3 寄付金収入			
個人寄付金	0		
法人寄付金	0	0	
経常収入合計			0
II 経常支出の部			
1 事業費			
物品の斡旋及び販売	0		
役務の提供	0	0	
2 管理費			
管理料等	0		
交通費	0		
事務消耗品	0		
通信費	0	0	
経常支出合計			0
経常収支差額			0
III その他資金収入の部			
その他資金収入合計			0
IV その他資金支出の部			
その他資金支出合計			0
当期収支差額			0
前期繰越収支差額			0
次期繰越収支差額			0

令和6年度「特定非営利活動に係る事業」会計貸借対照表

令和7年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本ファンリテーション協会

科目・摘要	金額 (単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	0		
普通預金 三菱UFJ銀行(経費)	62,266		
普通預金 三菱UFJ銀行(継続会費)	750,458		
普通預金 三菱UFJ銀行(新規会費)	602,948		
普通預金 三井住友銀行	3,163,192		
普通預金 三井住友銀行	7,133,643		
普通預金 三井住友銀行	8,708,101		
普通預金 三井住友銀行	9,541,552		
普通預金 楽天銀行	3,051,487		
前渡金			
未収入金			
仮払金	3,262		
流動資産合計		33,016,909	
2 固定資産			
固定資産合計	0		
減価償却累計額	0	0	
3 投資その他の資産			
差入保証金	29,580		
投資その他の資産合計		29,580	
資産合計			33,046,489
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	3,410,255		
預り金	244,671		
流動負債合計		3,654,926	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			3,654,926
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		32,912,914	
当期正味財産増加額		△ 3,521,351	
正味財産合計			29,391,563
負債及び正味財産合計			33,046,489

令和6年度「その他の事業」会計貸借対照表

令和7年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目・摘要	金額（単位：円）		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	0		
普通預金	0		
流動資産合計		0	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			0
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	0		
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増加額		0	
正味財産合計			0
負債及び正味財産合計			0
			0
			0

令和6年度会計財産目録

令和7年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目・摘要		金額 (単位:円)	
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高	0	
普通預金	三菱UFJ銀行西新宿支店	62,266	
普通預金	三菱UFJ銀行西新宿支店	750,458	
普通預金	三菱UFJ銀行西新宿支店	602,948	
普通預金	三井住友銀行渋谷支店	3,163,192	
普通預金	三井住友銀行渋谷支店	7,133,643	
普通預金	三井住友銀行渋谷支店	8,708,101	
普通預金	三井住友銀行渋谷支店	9,541,552	
普通預金	楽天銀行	3,051,487	
前渡金		0	
未収入金		0	
仮払金	預金源泉税	3,262	
流動資産合計			33,016,909
2 固定資産			
固定資産		0	
固定資産合計		0	0
3 投資その他の資産			
差入保証金	レンタルスペース	29,580	
資産合計			29,580
			<u>33,046,489</u>
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金		3,410,255	
預り金	講師謝礼源泉所得税	244,671	
流動負債合計			3,654,926
2 固定負債			
固定負債合計			0
負債合計			<u>3,654,926</u>
正味財産			<u><u>29,391,563</u></u>

令和6年度の事業報告書ならびに貸借対照表、活動計算書、財産目録を提出いたします。

令和7年4月20日

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会
会長 津田 壮彦



監査報告書

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会
会長 津田 壮彦 殿

私たちは、特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）の特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会の業務および財産の状況について監査を実施いたしました。

理事の業務執行の状況に関する監査に当たっては、理事会及びそのほかの重要な会議に出席し、必要と認める場合には質問をしました。また、財産の状況に関する監査に当たっては、財務諸表等（活動計算書、貸借対照表、財務諸表の注記及び財産目録）と帳簿や証拠書類等との照合、質問等の合理的な保証を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令および定款に違反する重大な事実はなく、法人の財産の状況は、NPO 法人会計基準に準拠して、財務諸表等に適正に表示されているものと認められました。

記

令和7年4月20日

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

監事 岡田 純子 

監事 野口 和裕 

2025年度事業計画書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

事業計画のポイント

2025年度のFAJは、一人ひとりが対話の力・意義を信じ、それぞれの現場で多様性を認め合い、豊かな話し合いを生み出していきます。

- ・ 会員それぞれが自分起点で他団体、地域、社会とつながり協働し、社会に変化を生み出していこう。
- ・ 多彩な分野で活躍するファシリテーターが集まり、多様な人々が協働し合う場としてのFAJのあり方を共に考えていこう。

FAJは2003年に「ファシリテーションの普及を通じた多様な人々が協調しあう自律分散型社会の実現」を掲げ発足しました。それ以来、21年の歳月を重ね、ファシリテーションの力を信じ、その可能性を探求し続ける中で、多くの挑戦を重ねてまいりました。私たちは、ファシリテーションがもたらす変化を目の当たりにし、その成果が各現場へと広がる様子を何度となく実感しております。こうした活動を通じて、これまでファシリテーションの普及に寄与できたことを誇りに思っています。

しかし近年SNSの発展等に伴い、エコーチェンバー現象の加速、「ポスト・トゥルース」や「論破」、「冷笑」といった言葉の蔓延等、話し合うことや対話の力、意義を信じる私たちの想いとは相反する傾向が社会において顕著になりつつあると感じています。対話の価値が損なわれているとも思えるこのような時代において、私たちの果たすべき役割はより一層重要になっているのではないのでしょうか。

私たち一人ひとりがなし得ることは小さな一歩に過ぎないかもしれませんが、しかし、それぞれの現場で多様性を認め合い、豊かな話し合いを生み出し続けることによって、着実に変化をもたらすことができると信じています。

FAJの特徴の一つとして、「学習から実践までが一気通貫に結びついている」点があげられます。私たちの、社会をよりよくしていきたいという想い、そのためにファシリテーションのスキルやマインドを磨きたいという学びの意欲から、FAJで得た学びをもとに行うその実践活動が社会により良い影響を与え、さらにその実践から得られた知見をFAJの仲間と共有することで、互いを高め合うことが可能となります。

私たち一人ひとりが対話の力・意義を信じ、自らの学びを社会に還元し、それぞれの現場で豊かな話し合いを生み出していく。これからもそうした活動を生み出し続けるFAJでありたいと考えています。

■ 会員それぞれが自分起点で他団体、地域、社会とつながり協働し、社会に変化を生み出していこう。

個人での活動には限界があるかもしれません。しかし、FAJの仲間と共に、さらには他団体や地域社会等と連携することで、その想いを具現化し、大きな変化を生み出すことが可能になります。それぞれの「自分起点」の想いを大切にしながら、協働する仲間とともに、より良い社会の実現に貢献していきましょう。

■ 多彩な分野で活躍するファシリテーターが集まり、多様な人々が協働し合う場としてのFAJのあり方を共に考えていこう。

現在、FAJは継続的な会員数の減少や赤字構造といった組織として解決すべき課題に直面しています。このような状況下、私たちが大切にすべきこと、そして社会に対してどのような価値を提供していくべきかを見つめ直す時期にきています。これからもより良い社会の実現に貢献し続けるために、FAJがいかなる存在であるべきかを共に考え、未来に向けて新たな一歩を踏み出していきます。

以下、重点的に取り組む内容を事業別に記します(括弧内は担当を表します)。

1 ファシリテーション技術の確立や新しい技術の開発を目指す調査・研究事業

調査・研究事業では、会員同士の相互研鑽の場としての基本的な開催の意義を踏まえ、FAJ 内外の連携をさらに広げ、20 年を超える活動から得た知見を活かしつつ、ファシリテーションの本質の探究を行っています。

1) 実践力の相互研鑽の場づくりの推進（理事会、各支部運営委員会）

- 各拠点において多様な開催形態で、定例会や例会を開催します。
- 拠点単独開催に加えて、拠点同士、または、外部団体との共同開催を行い、社会課題を意識したテーマを取り上げる等、各拠点でファシリテーションを探究する場を深め、広げていきます。

2) ファシリテーションの本質を探究（理事会、サミット実行委員会）

- 『共創 ～そこから生まれるものは何か～』をテーマに、宮城県にて「ファシリテーション・サミット仙台 2025」を開催します。
- 2026 年度以降の総会時の全国イベントを検討するにおいては、目的に沿ったうえで、事業における収支予算を適正化するように方針を変更いたします。

2 ファシリテーター養成や実践方法の普及を目指す教育・普及事業

公開セミナー基礎講座を中心に、オンライン開催や実践講座、出張講座等、様々な講座展開をしていきます。

1) 従来の公開セミナーの継続強化（公開セミナー委員会）

- ファシリテーション普及のため、19 回・28 クラスを目標に、全国各地で開催します。アフターミーティング（オンライン）は、継続して全国の運営メンバーにて 3 回の開催を計画します。
- セミナーの品質向上と継続的な開催に向けて講師の増員を目指し、講師トライアルを開催します。また、講師のレベルアップのための講師トレーニングの実施、昨年度の検討を踏まえセミナーコンテンツの改良を実施します。

2) 公開セミナーの新たな展開の検討（公開セミナー委員会）

- 基礎講座オンライン開催は、継続して「オンライン運営チーム」を編成し、3 回の開催を計画します。
- 実践講座は、東京で 3 回の開催を計画します。
- フェローが担当する公開講座（特別編）開催について、プロジェクトを立ち上げ、1 回の開催を計画します。
- 講座認知度向上・受講者増加のため、各プロジェクトチーム（ホームページ/SNS 活用/出張講座）で取り組みを継続します。

3 各種団体におけるファシリテーションの活用をサポートする支援・助言事業

社会課題の解決や新しい社会の創造に関わる様々な個人・団体の要請に対して、誠実に向き合い、ワークショップ等のファシリテーションの実施提供にとどまらない支援を行います。

1) 社会からの多様な要請に対する支援の充実（ファシリテーションサポート委員会）

- 研修やワークショップへのファシリテーターの派遣だけでなく、よろず相談（丁寧なヒアリング）に注力していきます。
- 外部からの様々な問い合わせに対応できるよう、コーディネーション力を高めるとともに、会員や各拠点との連携を模索します。
- 会員の多様な知識と経験をファシサポの活動に活かせるように、FAJ 内での情報発信に努めます。

2) 災害復興、防災・減災に関するファシリテーションを通じた支援（災害復興委員会）

- 災害発生時には、ファシリテーションを活用した支援として、被災地域における緊急期および復旧期での会議支援等を行います。また、復興期においては、支援団体等からの依頼のもと継続的な支援を行います。
- 災害時に備え、被災地での話し合いの支援ができる人材を育成するため、FAJ 内外で板書ボランティア勉強会や実践者養成講座を開催します。
- 災害復興や防災活動への関心を高めるため、FAJ 内外において様々な啓発活動を行います。

4 ファシリテーターや関連団体間の親睦を図る交流・親睦事業

交流・親睦事業では、外部団体等とのイベント等を通じて、FAJ 内外の人々とのつながりを持てる場づくりを進めていきます。

1) 地域イベントを開催（各支部運営委員会、地域イベント実行委員会）

- 地域イベントは、各支部の自主性を大切にしながら、ファシリテーションの魅力を上げていくことを目指します。

2) 国境や文化・言語を越えてつながる交流・親睦活動の強化（グローバルファシリテーション推進委員会）

- FAJ 内外の様々な組織と連携を深め、より公益性の高い活動を推進していきます。具体的には、フィン

ランド式ファシリテーションやワールドカフェ等、国際的な手法を取り入れた活動を継続して展開していきます。また、IAF との連携や、海外のファシリテーターとのコミュニケーションをさらに高められる組織づくりに取り組みます。

- 会員の自発的な活動を促進できるような新たなテーマ（あのね会等）に取り組みます。
- 異文化間のコミュニケーションの課題、グローバルなボランティア活動等のあり方を検討していきます。

3) 他団体との連携強化（理事会、各支部運営委員会）

- 各分野で活動している外部団体とファシリテーションを軸にコラボレーションを進めます。また、FAJ 外部のファシリテーターとの連携を深めます。

5 広報・コミュニケーション活動

FAJ 内外へのさらなる発信力強化に向けて、新しいコンテンツを展開します。

1) FAJ 内への情報発信の強化（理事会、広報委員会）

- 会員間の情報共有に向けた、ホームページの構成、内容・データ整備の充実について実施するとともに、新しいコンテンツを引き続き検討していきます。

2) FAJ 外への情報発信の強化（広報委員会）

- 新しいコンテンツを展開する等、今までの概念にとらわれないアプローチで企画を検討、実施します。

6 ミッションおよび組織運営に関わる活動

多彩な分野で活躍するファシリテーターが集まり、多様な人々が協働し合う場としての FAJ のあり方を共に考え、現代にあった組織・運営体制を模索します。

1) 組織のあり方の検討（理事会、各拠点、事務局）

- FAJ のガバナンス、会員制度のあり方等ゼロベースで考えていきます。
- ビジョン 4.0 の継続的な普及活動を行います。理事会および有志の普及チームがその推進役を担います。ビジョンの浸透の方法、ならびに、浸透の度合いを測る手法を検討していきます。

2) 運営のやり方の検討（理事会、各拠点、事務局）

- 2024 年度に適正化した FAJ の収支バランスを維持しつつも、ファシリテーションによって、会員それぞれが自分起点で他団体、地域、社会とつながり協働し、社会に変化を生み出す活動を継続するため、支出の削減だけでなく持続可能な収支構造の構築に向けた検討を行います。
- 情報共有会を引き続き開催し、理事・各拠点メンバーで組織の課題について考える場を設けます。また、各拠点での活動の見える化等、拠点間がつながりやすくするための取り組みを進めます。
- 事務局では、協会の運営に関する負担の軽減、並びに組織の維持に必要な管理事項を整理し、FAJ の活動に適した事務改善に努めます。

3) 拠点運営のサポートの充実とデジタル化の推進（事務局・デジタル推進委員会）

- 経費精算システムの安定稼働支援をします。
- 各拠点のデジタル化の支援および、組織横断に向けた、会員データベースおよび定例会レポートデータベースの導入やマイクロソフト 365 の活用による運用の効率化の検討の継続をします。
- 総会表決、会員管理等、既存システムの刷新について検討します。

4) 各種制度改正への対応（理事会、事務局）

- FAJ としての活動を維持・向上させるために、NPO 法人に関連する各種の制度改正への対応を行います。

7 その他の活動

新しい未来に向けて既存の境界線を越えていく一步を踏み出す活動を継続します。

1) 共通の目的を有する会員・各種団体との価値創出（協働促進プログラム委員会）

- 協働促進の活動を広げるため、広報、協働実現を展開する。今年度は以下の点に注力します。
 - ・ 広報については、FAJ が実施している協働案件を発信することで周知に努めます。
 - ・ 協働の範囲については、組織としての取り組み件数を増加させます。
 - ・ FAJ 内で協働促進プログラムへの協力者を増やします。

<FAJ ビジョン 4.0>

- わくわくした気持ちを持ち寄りつながることで、多彩な志の実現に活かす場ができて
いる
- 違うとちがうが響き合い、互いをたたえあっている
- あらゆる場でしなやかにふるまい、出番をつくっている
- 豊かな話し合いの好循環が広がり、人との関係を楽しんでいる

【A】特定非営利活動にかかる事業

1. 調査・研究事業

事業内容	実施時期	実施場所	従業者	受益対象者
北海道支部 定例会	定例会の延べ参加人数増および、北海道地区の会員数増を目指します。			
	通年(11回)	札幌	11名 (1名×11回)	会員 165名、一般 22名 (会員15名＋一般2名)×11回
東北支部 定例会	魅力ある定例会の企画・運営を行い、参加人数増と会員数増を目指します。			
	通年(11回)	仙台他	33名 (3名×11回)	会員 165名、一般 22名 (会員15名＋一般2名)×11回
東京支部 定例会	定例会の延べ参加人数をKPIとしつつ、より多くの会員が定例会の企画に関われるよ うな運営を行います。			
	通年(11回)	東京他	77名 (7名×11回)	会員 550名、一般 22名 (会員50名＋一般2名)×11回
中部支部 定例会	今年度も調査研究テーマに加え、研鑽テーマを引き続き行っていきます。中部の強みで あるオンライン開催を継続して実施します。他拠点との連携を発展させていきます。			
	通年(12回)	名古屋他	60名 (5名×12回)	会員 336名、一般 60名 (会員28名＋一般5名)×12回
関西支部 定例会	ICTを活用した、これからのファンリレーションの普及と探究。 共創を生み出す他団体との交流。 FAJ内の他支部、委員会活動との協働。			
	通年(11回)	大阪・京都・兵庫	88名 (8名×11回)	会員 440名、一般 33名 (会員40名＋一般3名)×11回
中国支部 定例会	今年度も「失敗熱烈大歓迎！！」を合言葉に、得意のおもてなし力で誰もが安心して挑 戦できる場を提供します。初参加者・非会員向けの基礎から経験者向けのとんがったテ ーマまで、様々な「やってみたい」を皆と一緒に企画します。焦らず着実に仲間を増や し、ともに成長し、対話があふれる社会の実現に貢献します。			
	通年(10回)	広島/オンライン	30名 (3名×10回)	会員 150名、一般 30名 (会員15名＋一般3名)×10回
九州支部 定例会	FAJ内他支部、委員会との連携を図り、知見の共有を図ります。 年数回、定例会のオンライン開催を実施し、遠方の会員とつながる場を作ります。 外部団体との協働企画にも取り組みます。			
	通年(11回)	福岡/オンライン	22名 (2名×11回)	会員 110名、一般 22名 (会員10名×一般2)×11回
サロンサポート	—	地域型 12カ所 テーマ型 3カ所	—	—

2. 教育・普及事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
公開セミナー	通年 (31 クラス)	札幌・仙台・富山・新潟・東京・愛知大阪・広島・福岡・沖縄・オンライン	170 名 (平均:5.5 名 ×31 クラス)	会員 176 名、一般 285 名 (平均:会員 6 名+一般 9 名) ×31 クラス

3. 支援・助言事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
ファシリテーションサポート委員会	通年 (30 回)	全国	60 名 (2 名×30 回)	一般 900 名 (一般 30 名×30 回)
災害復興委員会	通年 (30 回)	全国	120 名 (平均:4 名×30 回)	会員:127 名、一般:596 名)

4. 交流・親睦事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
グローバルファシリテーション推進委員会	未定	未定 オンライン・対面	5 名	不特定多数
地域イベント	未定	札幌		
	未定	仙台		
	未定	東京		
	未定	名古屋		
	未定	大阪		
	2025 年 5 月	広島	6 名	50 名
	未定	福岡	6 名	50 名

5. その他の総合的な事業

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
■ 広報委員会				
ニュースレター	未定	未定	未定	未定
ウェブサイト	随時	オンライン	—	会員・一般 多数
メーリングリスト等	随時	オンライン	—	会員

【B】その他の事業

■ 協働促進プログラム委員会

事業内容	実施日時	実施場所	従業者	受益対象者
パートナー型協働プロジェクト	通年	全国	40	一般 400 名

2025年度「特定非営利活動に係る事業」活動予算書

単位＝円

前年度の収支予算適正化の検討において、各拠点ならびにサミット実行委員会のみなさまの多大なるご尽力を賜り、2025年度予算収支構造の適正化を実現することができました。2025年度は、この予算を適切に執行できるよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。あらためまして、ご尽力いただきました各拠点等のみなさま、誠にありがとうございました。

2025年4月1日から2026年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会

科目	2025年度予算	予算内訳												
		事務局	北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	公開セミナー	サミット	ファシサポ	災害復興	協働促進
I 収入の部														
個人会費収入	10,000,000	10,000,000												
2 事業収入														
調査・研究事業収入	1,072,800		0	33,000	10,000	24,000	30,000	20,000	16,000		939,800			
教育・普及事業収入	11,233,000									11,233,000				
支援・助言事業収入	3,940,000											3,690,000	250,000	
交流・親睦事業収入	752,500		120,000	65,000	0	230,000	0	150,000	187,500					
その他事業収入	535,000													535,000
収入合計	17,533,300		120,000	98,000	10,000	254,000	30,000	170,000	203,500	11,233,000	939,800	3,690,000	250,000	535,000
3 寄付金収入														
個人寄付金	0													
法人寄付金	0													
収入合計	0													
4 助成金等収入														
民間助成金	250,000										250,000			0
収入合計	250,000										250,000			0
収入合計	27,783,300	10,000,000	120,000	98,000	10,000	254,000	30,000	170,000	203,500	11,233,000	1,189,800	3,690,000	250,000	535,000
II 支出の部														
1 事業費														
調査・研究事業支出														
会場使用料	2,133,460		212,000	103,000	582,000	220,000	307,600	100,000	100,000		508,860	0	0	
事務消耗品費	267,262		20,000	8,000	72,000	20,000	36,000	15,000	4,000		92,262	0	0	
交通宿泊費	1,223,000		320,000	50,000	100,000	200,000	158,000	130,000	120,000		145,000	0	0	
謝礼等	934,000		30,000	60,000	120,000	224,000	60,000	0	55,000		385,000	0	0	
印刷費	146,000		0	7,000	60,000	12,000	36,000	8,000	3,000		20,000	0	0	
会議費	236,710		33,000	12,000	10,000	40,000	101,710	30,000	10,000		0	0	0	
雑費	359,720		12,200	35,000	30,000	10,000	32,520	7,000	3,000		30,000	200,000	0	
外部委託料	170,000		0	0	20,000	0	60,000	0	0		90,000	0	0	
収入合計	5,470,152		627,200	275,000	994,000	726,000	791,830	290,000	295,000		1,271,122	200,000	0	
教育・普及事業支出														
会場使用料	2,170,000									公開セミナー				サロン詳細
事務消耗品費	130,000									2,170,000				【サロン：(地域型)12/(テーマ型)3】各サロンの活動にかかる、会場使用料、事務消耗品費、交通宿泊費などの経費。サロンの活動実態に合わせ雑費として計上している。
交通宿泊費	2,470,000									130,000				
謝礼等	3,860,000									2,470,000				
印刷費	440,000									3,860,000				
会議費	200,000									440,000				
雑費	663,000									200,000				
外部委託料	0									663,000				
収入合計	9,933,000									9,933,000				
支援・助言事業支出														
会場使用料	195,000											ファシサポ	災害復興	
事務消耗品費	42,000											45,000	150,000	
交通宿泊費	1,936,000											22,000	20,000	
謝礼等	1,290,000											786,000	1,150,000	
印刷費	40,000											1,020,000	270,000	
会議費	0											0	40,000	
雑費	122,000											0	0	
収入合計	3,625,000											2,000	120,000	
交流・親睦事業支出														
会場使用料	605,000		北海道	東北	東京	中部	関西	中国	九州	グローバル				
事務消耗品費	55,000		100,000	50,000	0	230,000	25,000	50,000	150,000	0				
交通宿泊費	290,000		15,000	5,000	0	5,000	5,000	15,000	10,000	0				
謝礼等	267,500		90,000	50,000	0	40,000	0	30,000	80,000	0				
印刷費	55,000		10,000	60,000	0	56,000	30,000	0	111,500	0				
会議費	37,500		0	8,000	0	10,000	5,000	12,000	20,000	0				
雑費	109,670		0	20,000	0	5,000	7,500	5,000	0	0				
外部委託料	15,000		20,000	10,000	0	15,000	670	10,000	4,000	50,000				
収入合計	1,434,670		235,000	203,000	0	361,000	73,170	137,000	375,500	50,000				
その他事業支出														
会場使用料	50,000													協働促進
事務消耗品費	0													50,000
交通宿泊費	310,000													310,000
謝礼等	423,500													423,500
印刷費	0													0
会議費	0													0
雑費	0													0
収入合計	783,500									0				783,500
事業費計	21,246,322		862,200	478,000	994,000	1,087,000	865,000	427,000	670,500	9,983,000	1,271,122	2,075,000	1,750,000	783,500
2 管理費														
事務局		事務局	デジタル	広報										
広報費	10,000	10,000	0	0										
交通宿泊費	900,000	900,000	0	0										
謝礼等	0	0	0	0										
会議費	100,000	100,000	0	0										
事務消耗品費	25,000	25,000	0	0										
通信運搬費	39,790	30,000	9,790	0										
諸会費	61,000	61,000	0	0										
雑費	150,000	130,000	10,000	10,000										
資料印刷費	0	0	0	0										
総会関係費用	0	0	0	0										
外部委託料	3,562,000	3,500,000	42,000	20,000										
支払手数料	520,000	520,000	0	0										
賃貸料	1,000,000	1,000,000	0	0										
租税公課等	100,000	100,000	0	0										
保険料等	40,000	40,000	0	0										
管理費計	6,507,790	6,416,000	61,790	30,000										
支出合計	27,754,112													
当期収支差額	29,188													
前期繰越収支差額	32,912,914													
次期繰越収支差額	32,942,102													

<第三号議案> 2025年度役員を選任について

(普通決議：総会に出席した正会員の過半数による議決)

1. 2025年度の理事候補者（敬称略、再任、新任で50音順）

再任 伊波 あゆみ

再任 河野 恵

再任 小林 政文

再任 田代 翼

再任 西野 靖江

再任 箱崎 博信

再任 水江 泰資

再任 山田 真司

新任 前田 卓也

2. 2025年度の監事候補者（敬称略、再任、新任で50音順）

再任 野口 和裕

新任 鳥羽 秀人

< 第四号議案 > 定款の一部変更について

(特別決議：総会に出席した正会員の四分の三以上の多数による議決)

変更理由：

大規模震災発生時に法人としての判断が必要な場合などにおいて、迅速に理事会が招集できるようにするため。理事会の招集に 14 日前までの通知を必須とする現規程に例外を設けるもの。

内容：

定款の一部を、以下の通り変更する。

変 更 前	変 更 後
第 6 章 理事会 (招 集) 第 34 条 理事会は、会長が招集する。 2 会長は、第 33 条第 2 号及び第 3 号の規定による請求があったときは、その日から 30 日以内に理事会を招集しなければならない。 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも 14 日前までに通知しなければならない。 4 第 32 条第 2 号及び第 3 号の規定する事項は、ウェブ会議、テレビ会議等のシステムによって開催することができる。	第 6 章 理事会 (招 集) 第 34 条 理事会は、会長が招集する。 2 会長は、第 33 条第 2 号及び第 3 号の規定による請求があったときは、その日から 30 日以内に理事会を招集しなければならない。 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも 14 日前までに通知しなければならない。ただし、緊急を要する案件で、会長が必要と判断した場合はこの限りではない。 4 第 32 条第 2 号及び第 3 号の規定する事項は、ウェブ会議、テレビ会議等のシステムによって開催することができる。

2024年度「特定非営利活動に係る事業」活動予算実績対比表（概要解説）

科目	2024年度 予算	2024年度 実績	予実 差異
I 収入の部			
1 会費収入			
個人会費収入 ①	10,840,000	9,565,000	-1,275,000
2 事業収入			
調査・研究	1,382,800	890,860	-491,940
教育・普及	12,234,000	10,214,500	-2,019,500
支援・助言	5,890,000	6,883,859	993,859
交流・親睦	1,666,000	493,500	-1,172,500
その他事業			
3 寄付金収入		201,650	201,650
4 助成金等収入	500,000	250,000	-250,000
② 収入合計	32,512,800	28,499,369	-4,013,431
II 支出の部			
1 事業費			
調査・研究	6,675,023	5,807,687	-867,336
教育・普及	11,129,000	8,868,315	-2,260,685
支援・助言	7,919,000	6,527,723	-1,391,277
交流・親睦	2,755,000	938,488	-1,816,512
その他事業	1,860,000	314,010	-1,545,990
2 管理費			
管理費計	10,058,940	9,591,034	-467,906
③ 支出合計	40,396,963	32,047,257	-8,349,706
III その他資金収入		26,537	
④ 当期収支差額	-7,884,163	-3,521,351	4,362,812

① 会費収入：

956万円と1,000万円を下回りました。
前期に会員が1,000人を下回ったことを反映しています。

② 収入計：

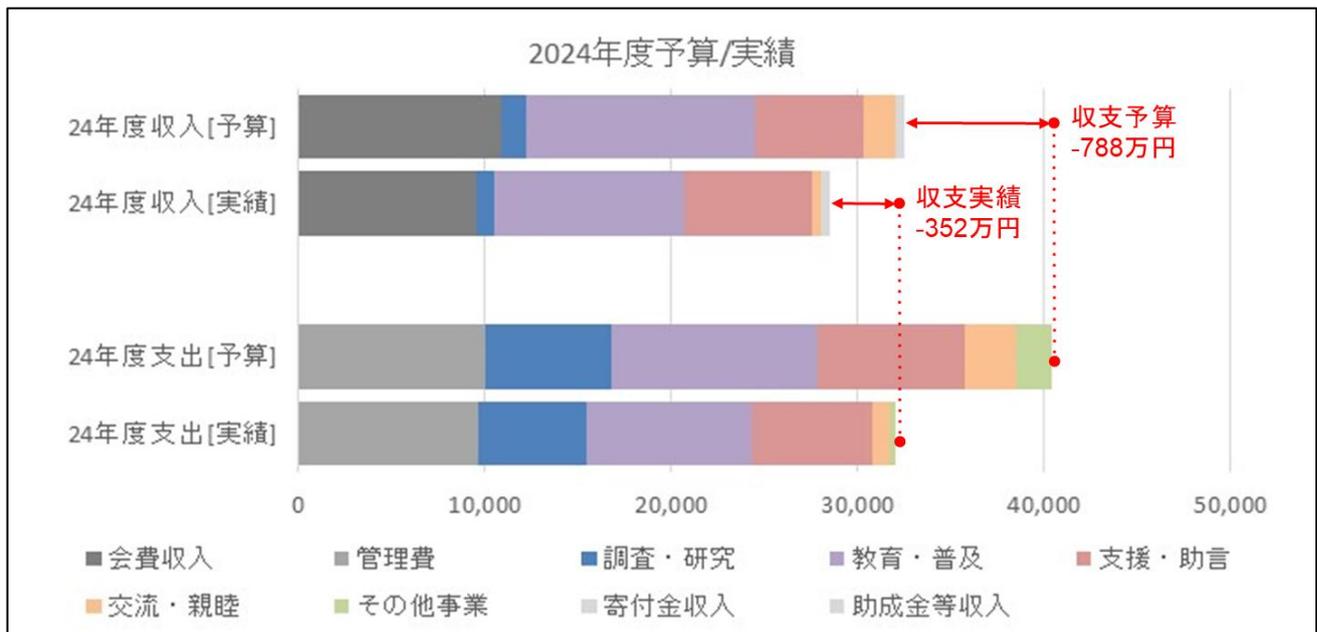
予算比で-403万円となりました。支援・助言以外は予算未達となっています。ただし、教育・普及は前年実績を上回るなど稼働改善がみられるところもあります。

③ 支出計：

全ての事業で予算を下回りました。
支出全体は3,204万円(予算比-834万円)となりました。

④ 収支差：

予算では収支差-788万円でしたが、
実績は収支差-352万円(+436万円)となりました



2025年度「特定非営利活動に係る事業」活動予算書（概要解説）

科目	2024年度		2025年度 予算	前年比	
	予算	実績		(対予算)	(対実績)
I 収入の部					
1 会費収入					
個人会費収入	10,840,000	9,565,000	10,000,000	-840,000	-435,000
2 事業収入					
調査・研究	1,382,800	890,860	1,072,800	-310,000	181,940
教育・普及	12,234,000	10,214,500	11,233,000	-1,001,000	1,018,500
支援・助言	5,890,000	6,883,859	3,940,000	-1,950,000	-2,943,859
交流・親睦	1,666,000	493,500	752,500	-913,000	259,000
その他事業			535,000	535,000	535,000
3 寄付金収入		201,650			-201,650
4 助成金等収入	500,000	250,000	250,000	-250,000	0
収入合計	32,512,800	28,499,369	27,783,300	-4,729,500	-716,069
II 支出の部					
1 事業費					
調査・研究	6,675,023	5,807,687	5,470,152	-1,204,871	-337,535
教育・普及	11,129,000	8,868,315	9,933,000	-1,196,000	1,064,685
支援・助言	7,919,000	6,527,723	3,625,000	-4,294,000	-2,902,723
交流・親睦	2,755,000	938,488	1,434,670	-1,320,330	496,182
その他事業	1,860,000	314,010	783,500	-1,076,500	469,490
2 管理費					
管理費計	10,058,940	9,591,034	6,507,790	-3,551,150	-3,083,244
支出合計	40,396,963	32,047,257	27,754,112	-12,642,851	-4,293,145
III その他資金収入		26,537			-26,537
当期収支差額	-7,884,163	-3,521,351	29,188	7,913,351	3,550,539

コロナ禍以降続いた収支マイナスを改善するため、全拠点が一丸となり約半年をかけて2025年度予算を組成しました。

収支均衡予算により、持続的な活動をおこなう前提ができました。この予算が執行できるよう、ご理解・ご協力をお願いいたします。

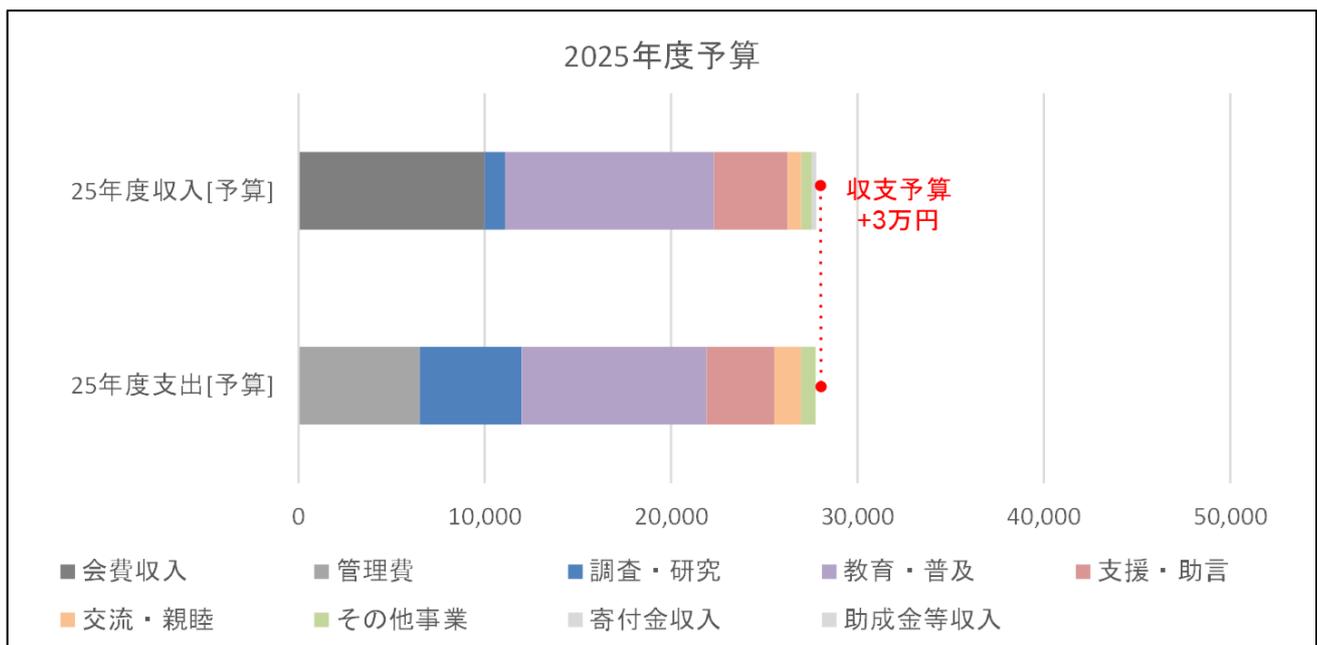
予算執行時には理事会で承認します

支援・助言：災害時の活動費は含んでいない
当該活動が発生時に予算承認を行う

交流・親睦：支部イベント開催は拠点判断

その他事業：協働促進が本格稼働開始

管理費：理事会/事務局641万円
 デジ推6万円（前年比 対予算△65万円）
 広報3万円（前年比 対予算△112万円）



2025年度予算適正化に向けて方向性を検討するチームからの提言について

2024年度事業報告にありました通り、FAJの全ての拠点、事務局、理事会から選出したメンバーにより構成されるチームにて、今後の運営に関する提言を作成し、理事会に提出しました。

本紙は、その提言及び提言に対する理事会の検討結果・状況について会員のみなさまにお知らせするものです。

＜2025年度予算適正化に向けて方向性を検討するチーム 構成拠点＞
北海道支部 東北支部 東京支部 中部支部 関西支部 中国支部 九州支部 公開セミナー委員会 ファシリテーションサポート委員会 災害復興委員会 グローバル委員会 協働促進プログラム委員会 広報委員会 デジタル推進委員会 事務局

参加いただいたメンバー並びに拠点のみなさまへ

FAJが今後も持続的に活動するため、長期間に渡り、予算の適正化という厳しい議論にご協力いただきましたこと、心よりお礼申し上げます。

提案いただいた提言は理事会で受け止め、検討いたします。

今後もみなさまとともに、ファシリテーションを社会に広げるため、活動の活性化を支援できるよう努めてまいります。

日本ファシリテーション協会理事会一同

【以下、提言（各項目：ゴシック体表記）及び提言に対する理事会の検討結果・状況】

1. 2025年収支予算を提言案とする

- 理事会にて提言案を2025年度予算案として取り扱うことを承認し、第二号議案「2025年度「特定非営利活動に係る事業」活動予算書」に提出しました

2. 予算費目の組み換えを柔軟に行えるようにする

- 期中の同一事業内での予算費目の組み換えについては、協会で運営に関する細かな取り決めを記録し、拠点長等に共有している「内規的運用事項」にて、以下のとおり定めております。

～内規的運用事項（抜粋）～

期中での同一事業内での予算費目の組み換えについては、事業担当理事の承認、その後理事会へ報告にて対応可能とする。

- 支部において交流親睦費の支出が削減できたので、調査研究の予算にその分を組み替えたい、といったような事業が異なる場合は、予算計画の更生として理事会の議決は必要ですが、実施は可能です。

(予算の追加及び更正)

第 47 条 予算議決後にやむを得ない事由が生じたときは、理事会の議決を経て、既定予算の追加又は更正をすることができる。

3. 総会の決算資料について、グラフ等を利用し会員にわかりやすくする

- 本紙参考資料 1、2 として試行しました。今後も資料の改善を検討します。

4. 本提言とそれに対する理事会の検討結果を広く会員に開示し、多くの会員にその内容について理解いただくようにする

- 2025 年 2 月 8 日分理事会議事録および本紙にて報告、周知を行うとともに、検討中の課題については、今後も理事会議事録等にて結論を開示します。

5. ニュースレターを廃止するため運営規程の変更を行う

- 現在、ニュースレターは会員特典（会員便益）として、運営規程第 8 条第 1 項に規定しておりますが、そのあり方などを含め、理事会と広報委員会にて協議・検討を行っているところです。

6. 支部イベント実施については、支部の判断に委ねる

- 支部イベントの実施は、2023 年度に理事会から年度方針としてお願いしておりました。現在は、各支部の判断に委ねておりますことをお伝えします。

7. 2026 年度以降のサミット開催は基本的には実施しない。もし実施する場合は、黒字が見込める計画を立てる

- 事業計画にて記載しましたとおり、目的に沿ったうえで、事業における収支予算を適正化するように方針を変更いたします。

8. 支援助言事業においては、そのニーズの発生の状況に応じて特別予算の議決を迅速に行うことができるスキームを確立する(例:災害発生時に特別予算の計上を行う、予備費の執行を議決する)

- 予算適正化の考えから、緊急時の予算執行については、定款に基づき追加予算について理事会決議を経るべきものと考えますが、迅速な議決等、実際の状況に応じた適切な執行を担保するための運営上の取り決めを、関係する拠点と理事会で協議・検討します。

9. 議決権のない賛助会員の価格を現在の正会員の価格と同程度とし、正会員の価格を値上げる(例:賛助会員 10,000 円、正会員 12,000 円)
 - 項目 11、13 とともに、会員のあり方として、今後理事会内で協議・検討します。
10. FAJの各種活動に対し、寄付金活動を行えるようにする(例:社会福祉の現場での話し合いの支援、教育現場でのファシリテーション教育、災害支援金)
 - 事務局の人的、機能的資源の状況と、寄付金取得における法令要求を持続可能とする方法等を考え、可能な範囲での実現を理事会で検討します。
11. 一般会員、賛助会員の他に、無料会員(仮称)区分を新設し、FAJ 外に対して FAJ やファシリテーション活動をより伝えやすくする(無料会員(仮称)の意図:マーケティング=メールを送付できるようにする。イベントの案内を出せる。例)メール会員とか、定例会にはお金を払って参加できる等)
 - 項目 9、13 とともに、会員のあり方として、今後理事会内で協議・検討します。
12. 支部が収入を増やす活動ができるようにする(例:有料セミナー)
 - 提言メンバー、支部から本項の意図を確認し、必要な検討を理事会で行います。
13. 法人会員増のため、法人会員の便益として一定範囲の営業活動を可能とする
 - 項目 9、11 とともに、会員のあり方として、今後理事会内で協議・検討します。

ご寄付、ありがとうございました

会計収支報告書にもございますとおり、2024年度は、能登半島地震に関する「ファシリテーション支援募金 2024」として、2024年4月1日から2025年3月31日まで、寄付金の募集を実施しました。

いただきました寄付は合計 201,650 円でした。

多くの方から寄付金をお預かりしましたこと、この場をお借りして御礼申し上げます。

寄付金は FAJ 災害復興委員会によって、能登復興支援活動を行うにあたっての運営スタッフの活動費等にに使わせていただいたことをご報告申し上げます。

作成日 2025年5月3日

特定非営利活動法人日本ファシリテーション協会

＜2025 年度日本ファシリテーション協会 通常総会議事資料 正誤表＞

一部訂正のため、次の内容を修正しました。大変申し訳ございませんでした。
本資料には全て反映されております。

No.	頁数	修正前	修正後
1	15 頁	予算（2024 年度計画）の列、事業費計 2,997 万円が、その他事業支出 36 万円が加算されていない数値である	予算（2024 年度計画）の列、事業費計にその他事業支出 36 万円を追加し、3,033 万円とし、それに合わせ、予算における支出合計が 4,039 万円、収支差を 788 万円に修正
2	29 頁	表・図	No.1 の修正に伴い内容を修正
3	30 頁	表・図	No.1 の修正に伴い内容を修正